



本部広報2011-067

2011年11月24日

ロードサービス技術、全国No.1に輝いたのは…？ ～第12回全国ロードサービス競技大会を開催～

J A F（一般社団法人日本自動車連盟、会長 田中節夫）は、11月21日と22日の2日間にわたり、J A F中央研修センター（東京都多摩市）および町田ドライビングスクール（東京都町田市）において「第12回全国ロードサービス競技大会」を開催しました。この大会は、安全対策、接客、救援技術および危機管理要領等について競技し、技術レベルの向上を図るため、2年に1度、開催されています。「日本一のロードサービス隊員」を目指し、全国2500名余りのロードサービス隊員の中から、地区予選などにより選抜された各地区チーム5名の合計40名が高レベルのサービス技術を競いました。

競技種目としては、指令員個人実技競技（指令業務技術及び問合せに対する電話応対）およびレッカーチューハウス乗務員個人実技競技（二輪・四輪に対する救援技術及び事故防止対策）、学科競技のほか、団体実技競技（被災地における支援隊活動の部隊行動に係わる実技競技）が行われました。各競技ともに制限時間内でいかに的確に、安全に作業を行うことができるか、ロードサービス隊員の力量が問われます。

今回の競技大会で総合優勝に輝いたのは、J A F北海道本部チーム。2009年に行われた前回の大会で惜しくも準優勝だった当チームが見事、優勝旗を勝ち取りました。

J A Fでは、こうした競技大会をとおし、救援技術レベルの向上を目指すとともに、全隊員に徹底的に「安全確認」の習慣を身につけ、皆様に安全と安心のロードサービスを提供できるよう努めています。

■第12回全国ロードサービス競技大会 結果

総合表彰(個人競技および団体競技の総合評価)

優勝	北海道本部
準優勝	東北本部
3位	関西本部

■競技大会の様子



接客技術も審査のポイント



二輪車の救援作業実技



災害時を想定した団体競技
連携のとれた部隊行動を審査

このニュースリリースへのお問い合わせは、

J A F広報部 電話03-3578-4920へ お願いします。